

命をあきらめない

～感性の扉をひらいて、病を超えて～



甲状腺がんから6年
医師：小林 正学



末期白血病から16年
高原 和也



希少がんから26年
杉浦 貴之

2025年 10/5 (日)
13:30 ~ 16:30 (open 13:10)

余命 2,3 週間の末期白血病から治癒に至った高原氏の軌跡。「2 年生存率 0%」の希少がんから、歌うことで生きる力を取り戻した杉浦氏のステージ。がん経験者でもある小林医師の考察とは？

- 場所 那覇市職員厚生会 多目的室ホール 那覇市おもろまち1-1-2 上下水道局庁舎B棟3階 ※有料駐車場有
- 料金 事前予約 / 申込 4,000 円 当日 5,000 円 アーカイブ 3,000 円
- ご予約 & お問い合わせ 080-4110-7342 (涌井) 090-7156-1466 (前原)
- 共催 チームメッセンジャー 岡崎ゆうあいクリニック
Awakening Support サロン なごみや



ネット申込

高原和也 (たかはらかずや)

1975 年沖縄県生まれ。2007 年 3 月、31 歳の時に「成人 T 細胞白血病」と診断。再発・転移を繰り返し、2009 年 8 月に「余命は早くて 2 ~ 3 週間」との宣告を受ける。その後、出会った方の一言で意識の変容が起こり、2010 年 11 月自然治癒。2019 年 3 月「なごみや整体院」を開院。自身の体験・経験をベースに心と体の不調改善のサポートを行っている。

杉浦貴之 (すぎうらたかゆき)

1971 年愛知県生まれ。シンガーソングライター & 『メッセンジャー』編集長。1999 年 28 歳にして腎臓の希少がんを診断。当時「早くて半年、2 年後の生存率 0%」。左腎摘出手術、化学療法後、再発予防を目的に様々な養生法に取り組む。呼吸法をきっかけに体の回復を実感、歌うことへ繋がっていく。歌で命のメッセージを伝えている。2023 年『がんステージⅣ克服』出版。

小林正学 (こばやしまさのり)

大学卒業後、名古屋市立大学外科に入局し、長年にわたり外科手術、抗がん剤に携わる。2019 年に自分で甲状腺がんを発見し統合医療の重要性に気づく。以後、日本全国の医師、施術家、がんサバイバーから、その叡智を吸収。「幸せに生き切る」医療を目指し、2022 年 4 月、「岡崎ゆうあいクリニック」を開業。感性の大切さに気づき、感性を重視した心のケアを医療に導入。近年では自律神経や脳波が免疫システムに及ぼす研究に力を入れている。